

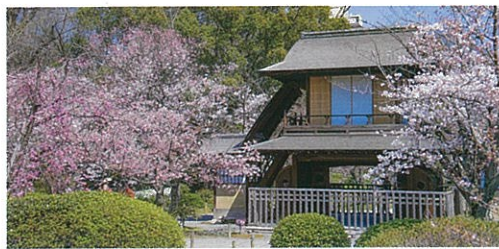
渉成園-枳殻邸-とは

Shosei-en Garden.Kikoku-tei.

渉成園(しょうせいえん)は、東本願寺第十三代・宣如(せんによ)上人が、徳川家光から東本願寺の東側の土地を寄進され、つくられた庭園です。宣如上人は1653(承応2)年に退隠して自らの隠居所をそこに定め「渉成園」と名づけました。また、周囲に枳殻(カラタチ)を生垣として植えたことから「枳殻邸(きこくてい)」とも称されるようになりました。渉成園は以来、東本願寺歴代の隠居所となり、詩歌・茶の湯・能狂言などに親しむ場としても整備されてきました。

庭園は「池泉回遊式庭園」であり、洛北詩仙堂を開いた石川丈山の作庭と伝えられています。約1万600坪の敷地の中に、大小2つの池と数棟の茶室、そして、御本尊を安置する園林堂と書院群があり、江戸時代には、儒学者で漢詩人でもある頼山陽が渉成園を訪れ「渉成園記」を記し、その風雅を讃えています。

現在は、東本願寺の飛地境内地の庭園として一般公開し、多くの方々を訪れ四季折々の景色を楽しんでいます。また、1936(昭和11)年には、文人趣味にあふれる仏寺庭園として国の名勝に指定されました。



《通常公開概要》 通常は下記のとおり公開しています。年中無休

○開園時間 【3月～10月】9:00～17:00(受付は16:30まで)

【11月～2月】9:00～16:00(受付は15:30まで)

○庭園維持寄付金 庭園施設の維持・保全のため、参観者お一人につき500円以上の協力寄付金をお願いしています。高校生以下250円以上。

500円以上で「渉成園ガイドブック」を贈呈。

三脚等を使用する撮影はご遠慮ください。

《渉成園ホームページ》 <http://www.higashihonganji.or.jp/shoseien/>

夜間限定 あったかぜんざいを食べよう!

1日限定150食!

11月15日～27日の夜間参観開催中のみの特別企画として、ぜんざいチケットご購入の方には通常非公開の書院「閨風亭(ろうふうてい)」に特別にお入りいただけます! 景色を見ながら、おくつろぎください。



※イメージです



閨風亭外観



会場へのアクセス

Access

渉成園(枳殻邸)

京都市下京区下珠数屋町通
間之町東入東玉水町

JR・地下鉄
京都駅より徒歩10分

地下鉄
五条駅より徒歩7分

市バス
烏丸七条より徒歩5分

ご来園は公共交通機関をご利用ください

